



この通信が不要のかたは、「通信不要」と返信して下さい。

**この通信の反応は
地球の未来をひらく
風通しをよし、世界に友だちを!!**

この通信を^{はこ}発行しはじめてから、これで4号目ですが、あちこちから^{はんのう}良い反応があります。編集者(editor)としては、とくに問題のないようなものは公表し、^{へんしゅうしよ}読者間の風通しを^{かぜとおし}よくしたいのですが、どのように皆さんはおもいますか？

いずれにせよ、わたしだけ読者からの返信を独占するのは良くないとわたしは考えておりますので、これから日本語理解者の世界ネットを構築(construct)するために、だんだん読者どうしても友だちになってください。この通信だけでなく、Skype、それを利用するテレビ中継などで、知りあっていきましょね。

第3号までの返信は
じょうほう
個人情報抜きの公開お願い

いままでわたしに返信した読者が、その返信を公開（open to the public）してもかまわない、とっていただけると一番うれしいが、公開がだめであれば、そのむね早めにお知らせしてくださるようお願いします。

なにも返信者から連絡がないばあい、だれの返信か、どの国の者か、どこに住所があるかなど、個人の情報がまったく特定できないような形式で返信を公開したいので、ご理解のほどお願い申し上げます。たとえば、下記のようなものです。

私は・・・と申^{まう}します。私の・・・大学は、・・・国の・・・市にあり、日本語を学んでいる学生は・・・名おります。私の学生・・・は、日本に留^{りゅう}学し、日本で就^{しゅう}職したいです。私の大学は、日本人の日本語教師・・・名を募^ぼ集しています。・・・教^{きょう}授^{じゆ} (professor) より

日本語理解者のネットで世界各地に^{けんどう}建造したい

平和福祉友好館

日本以外の外国で日本語をまなび、またはそれを使用している読者の皆さんは、このような平和福祉友好館ということばをはじめて耳にしてください。右写真は、札幌に建

わたしは1号で、かんたんに自己紹介をしました。が、札幌大学を退職してからは、こんどは実的な分野で活動しはじめ、昨年の夏に北東アジア共同体平和機構(organization)の設立するにいたりしました。

いまは太平洋共同体友好機構、それに地球愛共同体機構を構想しております。これらの略称は、それぞれ北東ア機構、太平洋機構、地球機構です。皆の地球友好ネット通信のように、これら3機構も、超党派、超宗派、超国家、人類結合的ですね。

これら機構は、内容がほぼ共通な憲章(charter)をもっており、各憲章は、それぞれ第53条で、下記のようにさだめています。すなわち：

第53条(平和福祉友好館) 1 かんけいこく 関係国は、みづらも みずらも出資し、その出資比率にかかわらず、相手側の友好自治体または他の主体が管理運営できる包括的機能の平和福祉友好館が、共同体内の友好自治体内にそれぞれ建設されることを促進する。

2 関係国が、この憲章に署名しないあいだ、この機構の会員が、独自にまたは共同体内の自治体、その他の出資者とも協力しあつて、個別的または包括的な平和福祉友好館を建設するよう努力する。

3 このような会館は、公的または私的に・・・多くの都市または場所に建設されることができる。この会館には、世界のいろいろな国からの国際団体と個人も同居(live together)できるようにすることが望ましい。

この通信の読者も、この種の自分たちの会館あるいはセンターなどと関係もてるとよいですね。